

リアルインテンション
～本音で語る～

練馬区議会議員(無所属)

井上 勇一郎

いのうえ ゆういちろう

Yuichiro Inoue

特集1 平成31年度予算が成立

特集2 区内の医療改革を進めます

特集1
PICK UP

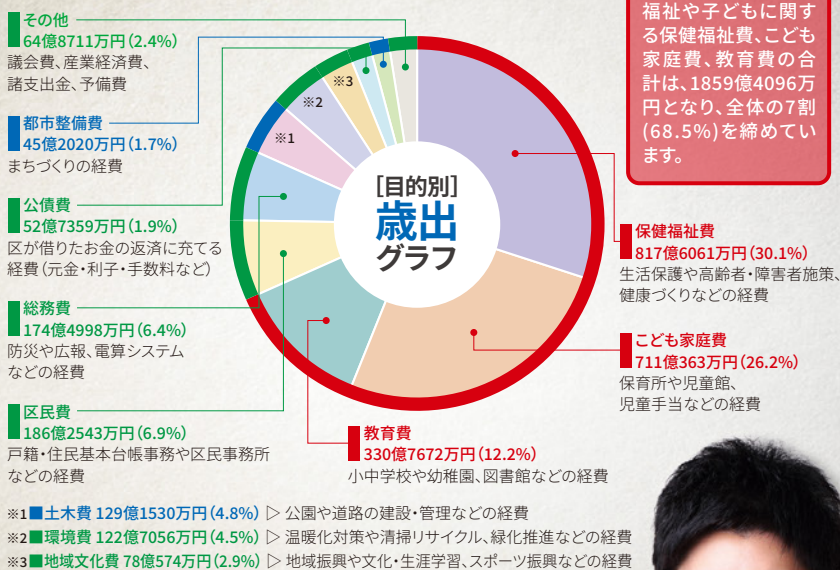
「あれもこれも」から「あれかこれか」へ!

平成31年度予算が成立

3月8日の練馬区議会本会議において、過去最大規模となる平成31年度(2019年度)予算が可決成立しました。2,712億8,885円(当初予算)と、前年比で76億3,055円、2.9%の増となりました。(※目的別の歳出は右のグラフを参照)

73万人を超える練馬区の人口は今後もしばらくは増加傾向との予測がされておりますが、長期的視点で見て将来的な人口減少は避けられません。また、2025年には団塊の世代の方が75歳以上の後期高齢者を迎え、超高齢社会に突入する中において福祉・医療などの社会保障費が重くのしかかる事や、老朽化した公共施設などの更新、インフラ整備などの行財政需要にも対応していかななくてはなりません。それを乗り越えるためには、これからいかに健全な行財政運営を行うかにかかっています。そのためにも、将来の子どもたちに今の政治のツケ(借金)を残すような「あれもこれも」というような古い政治体質から脱却し、「あれかこれか」という視点を持ち、進めるべき施策に優先順位を付け、責任ある政治判断を進めることを今後も各審議の中で目指してまいります。

【平成31年度 目的別歳出グラフ】



まちづくりや道路に関する都市整備費、土木費の合計は174億3550万円となり、全体の1割(6.5%)以下にとどまります。

未来にツケを残さない!!
政治を目指します!!



■会派幹事長として練馬区長と政策についての意見交換

国の税制改正から考える 地方自治とは何か

また、今回の予算審議では改めて「地方自治とは何か」を考えさせられるものとなりました。今回の予算特別委員会でも発言させて頂きましたが、法人住民税の一部国税化や、地方消費税の精算基準の見直し、ふるさと納税の影響などで既に単年度で90億円もの減収を強いられている練馬区。今後も地方法人課税の見直しなどにおいてさらに30億円近く減収になるなど、区の意向でない政策判断の影響額があまりにも大きすぎます。果たして、これ

で本当に「自治」と言えるのか。毎年感じる疑問ではあるのですが、今年はより一層強く疑問に思いました。

このような税制改正は都市と地方の間に生じている税源偏在が挙げられていますが、税源の偏在は本来地方交付税で調整されるべきものであり、また、待機児童問題や超高齢化対策、さらには首都直下地震対策など大都市には大都市ならではの莫大な財政需要も発生しています。このような東京狙い撃ちともいえる不合理な税制改正に対し、議会としても国に厳しい態度で制度の見直しを求めています。

裏面に続く

わたくし井上 勇一郎は、 区内の医療改革を進めます!

医療・高齢者等特別委員会委員
順天堂大学練馬病院運営連絡協議会委員として

練馬区内の病院の整備促進。

Mission:01 順天堂練馬病院の医療機能の拡充をします。

外来棟の新設、既存病棟の改修を進め、病床を90床増床します。さらには救急医療、周産期医療などの医療機能を充実し、区の中核病院として、高度急性期の医療提供体制の向上を図ります。

Mission:02 練馬光が丘病院の移転・改築を進めます。

地域医療振興協会が運営する練馬光が丘病院の34年度中の移転改築を目指し、現在計画を進めています。また、移転の際には病床を100床程度拡充させることや、高度急性期機能などの充実や回復期病棟の新設、さらには高齢化にともない需用が高まる循環器疾患などへの対応など、医療提供体制を充実します。

Mission:03 新病院を練馬高野台に整備します。

旧高野台運動場跡地に、医療法人社団慈誠会が運営する回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟など、200床程度の回復期および慢性期に対応した新病院の整備を進め、33年度中の開院を目指します。

■順天堂練馬病院 主な機能

- ・病床:400床⇒490床(90床の増床)
- ・外来診察室:54室⇒76室
- ・手術室、ICU、救急処置ベッド、無菌室の増設
- ・NICUの増設、およびGCUの新設
- ・がん治療センターの拡充

■練馬光が丘病院 主な機能

- ・病床:342床⇒450床程度(100床程度の増床)
- ・手術室やICU・CCUの増設、HCUの新設
- ・回復期機能の病棟(回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟)の新設
- ・循環器疾患(脳卒中など)や呼吸器疾患(肺炎など)に対応する医療提供体制の強化・充実
- ・災害時の応急治療を行うための簡易ベッド設置スペースの確保や酸素供給設備の設置

今後の医療施策の目標として

順天堂練馬病院を三次救急医療機関へ 機能充実を目指します!

三次救急とは、心肺停止、大やけど、脳卒中など、二次救急体制では対応できない重症および複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者(心筋梗塞、脳卒中など)を24時間体制で受け入れる体制と高度な診療機能をもつ医療機関です。現在、練馬区には残念ながらこの三次救急病院は存在しておらず、区内で三次救急患者が発生しても区外病院に搬送しなくてはなりません。仮に練馬区役所を起点として一番近い三次救急病院は、日大板橋病院の(直線距離で)約4km。

区東部こそ板橋区側に所在する三次救急病院に比較的近いですが、区西部については隣接する杉並区、世田谷区にも三次病院が所在せず、搬送までにかなりの時間を要します。そこで区内唯一の大学病院である順天堂練馬病院へ三次救急機能の設置を、区および設置権者である東京都へ求めてまいります。

■練馬区役所からの直線距離

病院名	所在地	距離(km)
日本大学板橋病院	板橋区	4.0
東京医科大学病院	新宿区	5.9
帝京大学医学部附属病院	板橋区	6.3
杏林大学医学部付属病院	三鷹市	10.0
公立昭和病院	小平市	13.4

練馬区議会議員(無所属)

井上 勇一郎 いのうえ ゆういちろう

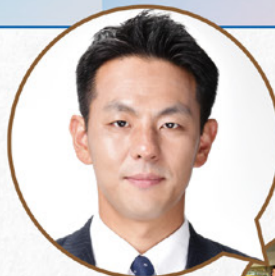
Y U I C H I R O I N O U E

昭和59年3月16日生まれ、向南幼稚園卒園、練馬区立向山小学校卒業、練馬区立開進第二中学校卒業、地元練馬育ちの35歳。大学卒業後、民間企業を経て国会議員秘書として私設秘書から公設第二秘書、公設第一秘書、秘書会事務局長、党代表秘書などを務める。平成27年4月26日練馬区議会議員選挙にて初当選。現在1期目。

[会派役職] 幹事長

[所属委員会] 企画総務委員会、医療・高齢者等特別委員会、議会運営委員会

[その他] 国民健康保険運営協議会、順天堂大学附属練馬病院運営連絡協議会
練馬消防団 部長



東京都議会議員
藤井 ともり

私も応援しています!!

未来にツケを残さない
政治を目指します!!